

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院不整脈内科に、心房細動で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院不整脈内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、倫理審査委員会で承認され、高槻病院院長の研究実施許可を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

下大静脈からの治療介入が困難な症例への上大静脈を介した遠隔磁気ナビゲーション補助心房細動カテーテルアブレーションに対する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院不整脈内科 医員 田中 友望

3. 研究の目的

心房細動に対する治療として、カテーテルアブレーションという根治を目指した治療法および内服による不整脈抑制を目指した治療法があります。前者のカテーテルアブレーションについては近年標準治療として確立されていますが、カテーテル手術の際に足の付け根(大腿静脈)からカテーテルを挿入することが必要です。当院では大腿静脈からカテーテルを挿入することが困難な方に対しても、カテーテルアブレーションという治療を選択できるよう、鎖骨の下(鎖骨下静脈)から上大静脈を通過しカテーテルを挿入し、かつ遠隔磁気ナビゲーションシステムを使用して安全に心房細動カテーテルアブレーションを行えるよう診療を進めております。本研究では、上記のような患者さんの治療内容や治療後の経過から、安全性および有効性について解明することを目的としております。診療録より対象となる方を抽出し、匿名化された状態で、検査記録や再発の状況、病気の発生率、生死の情報を収集致します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

心房細動の患者さんで、西暦2018年1月1日から西暦2022年12月31日までの期間中に、鎖骨下静脈穿刺にてカテーテルアブレーションの治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、カテーテルアブレーションの手技の内容、既往歴、内服薬、心エコー図検査、予後、画像検査に関する情報です。

(3) 方法

当院で電子カルテより情報を収集し、解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被るこ

とは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

ありません。

8. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院不整脈内科 担当医師 田中 友望

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : tanaka.tomomi@aijinkai-group.com